

## 創立記念式典式辞

創立記念式典にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本日、ここに、大阪工業大学長 西川禎一先生、京都工業会会長 田中千秋様、京都教育大学副学長 武蔵野實先生、京都工芸繊維大学元学長 巽 友正先生ほか多くのご来賓各位をお迎えし、創立記念式典を開催することができますのは、学長として誠に大きな喜びであります。

京都工芸繊維大学は、遠く京都高等工芸学校及び京都蚕業講習所に端を發し、時代の進展とともに百有余年にわたり発展を遂げてきました。

この間、本学は、伝統文化の源である古都の風土の中で、知と美と技を探求する独自の学風を築きあげ、学問、芸術、文化、産業に貢献する幾多の人材を輩出してきました。

昨年4月、89の国立大学は、文部科学省の一機関から独立し法人になるという、未曾有の大変革を行ないました。

本学も、法人としての制度上の抜本的な変革を行なうとともに、独立した法人として、将来の道しるべとなるべき基本理念を制定いたしました。

この理念では、「人間と自然の調和」、「知と美の融合」、「豊かな人間性と高い倫理性に基づく技術の創造」を目指すことを教育研究の指針としています。

これを具体化するために、さらに、研究、教育、社会貢献の目標を設定いたしました。

研究面では、「科学と芸術の融合を目指す学風を発展させ、深い感動を呼ぶ美の探求と卓越した知の構築によって、人類社会の未来を切り拓く学術と技芸を創成すること」を目標としています。

また、教育面では、「京都の文化を深く敬愛するとともに、変貌する世界の現状を鋭く洞察し、環境と調和する科学技術に習熟した国際性豊かな人材を育成すること」を目標としています。

さらに、社会貢献の面では、地域における文化の継承と未来の産業の発展に貢献するとともに、その成果を広く世界に問いかけ、国際社会における学術文化の交流に貢献することを目標としています。

本学は、「人間と自然の調和」、「知と美の融合」、「豊かな人間性と高い倫理性に基づく技術の創造」という目的を達成するために、研究、教育、社会貢献の三つの目標をバランスよく追求していきたいと考えています。

本日は105歳の誕生日に当たりますが、この誕生日を機に、本学の輝かしい足跡を振り返り、その礎のもとに理念に掲げた目標を遂行することの意義を確認し、志を高く強くしたいと考え、記念事業を企画いたしました。

事業内容は、「記念式典」、「科学技術展」、「記念講演会」、「記念講座」、「KITイ

ヴニングコンサート」、「ホームカミングパーティ」です。

この企画の中での本学の過去・現在・未来についての語り合いが、本学の将来の発展の契機になることと確信しております。

このような創立記念事業は、毎年開催したいと考えています。一步一步の積み重ねこそが、飛躍の礎であります。創立記念日を、一步一步の積み重ねを確認し、次の新たな一歩を探すための一日にしたいと思います。

ご出席の皆様のご理解、ご指導、ご支援をいただき、私たち454名の教職員の努力の相乗効果が相まって、輝ける大学を創造する道が拓けることを願って、私の挨拶とさせていただきます。

平成17年5月31日

京都工芸繊維大学長

江島義道